

最新ニュースをお届けします！



No.202

やぎとひつじの違いってなあ～に？

栗山公園にはメスのやぎが2頭(モモちゃん、メメちゃん)、メスのひつじが2頭(ランちゃん、ベルちゃん)がいます。では、どこがどう違うのでしょうか？

やぎ	ひつじ
■外見 角は少し湾曲し後ろに伸びている。しっぽは短く上向き。あごひげが生えている。	■外見 角は渦を巻いて伸びている。しっぽは長く下向き。あごひげは生えていない。毛がモコモコ生えているのが特徴的。
■性格 好奇心旺盛で活発。	■性格 温厚でおとなしい。おっとり。
■食事 主に草。草以外にも木の葉っぱや木の芽を好んで食べる。	■食事 基本的に草のみ。
■特徴 やぎのチーズやミルクは芳醇な風味があり、牛乳より消化性に優れている。	■特徴 ひつじの毛は伸び続け、暑さに耐えられず病気につながることも。1年に1回の毛刈りが推奨されている。

【問い合わせ】栗山公園案内所 ☎ 72-0706
指定管理者 株式会社たかはしダリア

【最新情報を簡単アクセス】
★栗山公園公式ホームページ
<http://t-daria.com/parktop>



／元気をお待ちしています♪／



やぎ

ひつじ

No.30

北の錦記念館「炭光鶴」の帆前掛

新年のお屠蘇がわりに、今年もこのコラムをお届けいたします。
年始めに酒は欠かせないもの。実は以前から気になっていた酒がありました。北海道炭礦汽船(北炭)の炭鉱で飲まれていた清酒「炭光鶴」がそれです。
今は名前だけが残るのですが戦前、小林酒造の炭鉱向けのPB(プライベート・ブランド)の清酒が炭光鶴でした。炭鉱の「鉱」を「光」に変え、「鶴」を入れて銘柄としたもので、名称は北炭の社内報で募集したと聞きました。炭鉱の分配所(直営売店)向けだったようで、残念ながら詳しいところは不明です。
石炭産業の最盛期、空知地域の炭鉱だけでも9万人近い



「炭光鶴」と染め抜かれた帆前掛

労働者が石炭の採掘に励み、それを癒した酒でした。
今は小林酒造の北の錦記念館に展示されている「炭光鶴」と染め抜かれた帆前掛け、広告用のスタンプだけが名残です。帆前掛けには優良清酒「炭光鶴」の銘柄と、開拓使からの歴史ある北炭の星の社章が染め抜かれていました。
昨年の暮れ、日本酒など日本の「伝統的製造り」が、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。
今年もよろしくお付き合いください。

町史の隠れ家

町史資料調査室・研究員／青木 隆夫

YouTubeで歴史コンテンツ公開中！



町史資料調査室 ☎ 76-7820

栗山の知られざる歴史、今ここに蘇る



No.2 飲食店にチャレンジできます

今回ご紹介するのは、飲食営業にチャレンジできるシェアキッチン「くりふとキッチン」です。大・小2つのキッチンがあり、本格的な厨房器具を備えています。メニュー販売はもちろん、製造・試作など用途に合わせてご利用もできます。

現在は約50人の使用者登録があり、ほぼ毎日ご使用いただいています。大キッチンにはスチームコンベクションオーブンもあり、最近はお菓子作りでの利用が増えています。なお、ご使用にあたり事前に登録等の手続きが必要となりますので、ご検討されている方はくりふとまでご連絡ください！

※ご利用の皆さんへ

出店者は日替わりのため、事前にくりふとのウェブサイトやSNS(下記二次元コード参照)から、出店者や営業時間などのチェックをお願いします。突然、新たな出店者やメニューが登場することもありますので、お楽しみに！

【開館時間】9:00～22:00(月曜休館、変動あり)

【所在地】中央3丁目154-1(栗山駅南側)

【電話番号】栗山煉瓦創庫くりふと ☎ 76-9945



Web



Facebook



Instagram



No. 101

新しい力で栗山を元気に 地域おこし 協力隊です



森林サービス産業チャレンジ隊員

安藤 あかり 隊員

地元の皆さんが栗山町の森に来てもらい、楽しめるイベントも計画中！

森林を末永く、栗山の宝に。

初めまして！ご縁があって8月から栗山町で地域おこし協力隊として活動している安藤あかりと申します。

森林資源が豊かで、札幌市からも来やすく、素敵なひとがたくさんいることに魅力を感じ、栗山で活動することを決めてから早4カ月。森林の研究をしていることも活かしながら、栗山町の豊かな森林資源やそれに関する知識、いろいろなことに挑戦しやすい環境、人、これらを多くの人に届け、活かしていくことを目指して活動しています。

8月からは札幌市の大学生が栗山町で森林を活かす活動を手

伝い、地元の方々と栗山の森林を歩くイベントを開催しました。この4か月の経験をもとに、来年度以降、町内外から多くの方々が参加できるイベントにし、栗山町の経済的な循環まで生み出していきたいと思っています。

とはいえ、まだまだ私自身も栗山町について知らないことがたくさんあります。もっとまちのことを知りながら、皆さんの力をお借りして、試行錯誤する1年にしていきたいと思っています。見かけたらぜひお声掛けください。